

2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

1. 活動の成果

2018 年度は経費削減と事業のスリム化を図って事務所の移転を行い、6 月より事務局の環境を一新し、事務局体制の強化を行った。山元町の事業をはじめ、いくつかの大きな事業を受託したことから、2014 年に各会員から借入れを行った借入金については期限通りに返済することができた上、ある程度余剰金を残すことができ、財務体質を大きく改善することができた。

研修事業については、被災地研修受け入れ事業として 2 つの団体からの受け入れ委託を受けて実施した。復興まちづくり塾については 2017 年度の成果を記録として冊子にまとめ、冊子の公表をきっかけに 2018 年度の復興まちづくり塾を開催した。まとめ冊子は概要版としてまとめることまでしかできなかったため貴重なコンテンツを次世代に残すという観点からは不十分なものとなった。復興まちづくり塾については継続的な開催が課題である。また若手研究者・学生を対象とした KOBE 復興大 2018 には講師派遣による協力を行った。

また、神戸すまいまちづくり公社からの受託による経営計画の策定にかかる職員の意見聴取のためのワークショップの開催支援や、伊丹市からの受託により市庁舎設計市民ワークショップの開催支援を行なうなど、復興まちづくりに関わる研修以外にも、組織内や市民の合意形成のためのワークショップでのファシリテーションの業務受託を通じた合意形成支援にも活動の幅を広げた。

地域コミュニティサポート事業では、2017 年度に引続き神戸市より「地域コミュニティ支援アドバイザー業務」を受託し、市内各区役所内でまちづくり課を中心とした職員（建設・環境・子ども家庭・福祉・社会福祉協議会等）による「地域コミュニティ支援者会議」の開催をサポートした。各区での支援者会議の開催状況は区によって様々であるが、地域コミュニティに関する各区役所内の情報共有の仕組みを確立しつつあるものの、2018 年度当初に目指した方法論の確立までには至らなかった。2019 年度からは、この情報共有の仕組みを通じて区内のコミュニティ課題と課題解決のための方策について、各区间で共有し、具体的な政策提言にまで結び付けていきたい。

被災地支援事業では、東日本大震災による被災地支援については、宮城県山元町での「被災地コミュニティ再生支援事業」を宮城大学から引き継ぐ形で受託し、当法人の職員として新たに 2 名を雇用し、町内の新市街地の自治活動の形成や、既存の自治会の運営支援・地域共同体的な自立的活動への支援を行なった。2019 年度も同様の支援活動をより発展させて続けていきたい。また、多賀城市における復興推進員研修・復興公営住宅のコミュニティ形成支援についても継続的に行なっている。

熊本地震による被災地支援については、2017 年度に南阿蘇村からの受託により行なった被災者個別相談の受託に引続き、2018 年度は、村内の集落活動・自治会活動の再生と生活再建を支援するための「被災者・被災集落の生活再建に係る支援業務」を受託し、村内の村づくり協議会の開催支援を行なった。また、益城町では、区画整理事業が実施される木山地区のまちづくり協議会の運営支援を継続的に行なっている。特に、市民が情報共有する場の大切さについて市民に理解いただき、実際にそういった場を実現することができた。

アドバイザー派遣事業としては、神戸市より「NPO・地域団体支援アドバイザー派遣事業」を受託、2017 年度に引続いて NPO のマネジメント力強化を行った。2018 年度はこれに加えて市内のふれあい

のまちづくり協議会の会計事務の向上のためのアドバイザー派遣を行なった。事業を通じ、特に地域団体では会計事務の向上支援だけでなくよりよい運営に向けた支援が必要とされていることが分かったため、2019年度には、地域団体の運営改善のためのアドバイザー派遣を神戸市に提案し派遣事業が実現した。

明舞団地エリアマネジメント推進事業ではひょうごボランティア基金地域づくり活動 NPO 事業助成金（連携重視事業）を得て、まちづくり会社の設立を目指し、松が丘地区まちづくり協議会の支援とマンション管理組合ネットワーク検討会・セミナーを開催した。

淡路地域のプラットフォーム淡路島実施事業の地域づくり・ネットワーク推進事業で、メーリングリストの運用とアドバイザー派遣の協力を行なった。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりに係る調査・研究・研修・政策提言

○研修事業

○研修受け入れ事業（自主事業／2018年4月1日～2019年3月31日）

NPO 法人設立・運営についての相談や、市民活動やまちづくりに関わる人々との交流・体験プログラム等にて、各種団体の研修・視察を受け入れた。

- ・4月5日（木） 災害公営住宅でのコミュニティ形成支援についてのヒアリング受け入れ ※写真①
(公益財団法人地域創造基金さなぶり)

トヨタ財団の東北でのコミュニティ形成支援のフォローアップ事業で、若宮地区の住環境整備事業、南芦屋浜災害復興公営住宅、HAT 神戸灘の浜災害復興公営住宅を案内した。



- ・1月16日（水） 東日本大震災 被災者招へい事業 2019（ひょうごボランティアプラザ）

ひょうごボランティアプラザが招聘した15名の名取市閑上の住民の方々が、HAT 神戸なぎさ地区の住民の方々からこれまでの課題や成功事例等を学び、名取市閑上の今後の復興支援につなげていくための意見交換等を行った。

○中期経営計画リニューアルにかかるワークショップに関する講師業務

(一般財団法人神戸すまいまちづくり公社委託事業／2018年7月3日～2018年8月31日)

神戸すまいまちづくり公社が策定した平成28年度から6か年の中期経営計画に基づき、後半3か年に向けての課題の洗い出し補強策の検討などのための職員参加型ワークショップを取り組むことになり、そのファシリテーターを派遣した。

- ・7月3日（火） 第1回ワークショップ「外部目線での事業アイデア出し①」
神戸すまいまちづくり公社 セミナールーム 参加数：29名
- ・7月27日（金） 第2回ワークショップ「外部目線での事業アイデア出し②」
神戸すまいまちづくり公社 セミナールーム 参加数：28名
- ・8月27日（火） 第3回ワークショップ「担当部局での事業アイデアの評価」
神戸すまいまちづくり公社 セミナールーム 参加数：22名

○伊丹市新庁舎設計市民ワークショップ業務

(株式会社隈研吾建築都市設計事務所委託事業／2018年7月1日～2018年9月30日)

伊丹市新庁舎整備工事基本設計について広く市民の声を反映させるための伊丹市新庁舎設計市民ワークショップの計画・実施を受託した。

- ・8月4日(土) 第1回ワークショップ「市役所の交流スペースや広場の使い方を考えよう！」
伊丹市役所 7階会議室 参加数：25名＋サポート学生6名
- ・8月26日(木) 第2回ワークショップ「市役所の交流スペースや広場をこんな風に使おう！」
伊丹市役所 7階会議室 参加数：21名＋サポート学生6名

○神戸復興まちづくり塾(自主事業／2019年1月13日)

2017年度度企画実施した復興を牽引したリーダーたちから「復興まちづくり」について実践知を引き出す「神戸復興まちづくり塾

(6回シリーズ)の集大成として、野崎理事長と田村副理事長から浅見事務局長のコーディネートで「神戸から東北、東北から熊本、熊本から西日本」とノウハウがどのように移転されているのかを現在進行形で聞いた。



写真②

- ・1月13日(日) ふたば学舎 多目的室(小)1-2 参加数：29名 ※写真②

『神戸から東北、東北から熊本、熊本から西日本』

神戸での経験は東北の復興に、神戸や東北での経験は熊本の復興にどう活かされていていっているのか？

○講座・勉強会事業(連携事業／前期5月18日、6月1・15・29日 後期10月11・25日、11月8・29日)

KOBE復興大実行委員会主催のKOBE復興大2018では、若手の研究者・学生を対象に、前期「復興とはなにか」4回、後期「まちづくりとは何か」4回の講座を開催した。神戸まちづくり研究所は開催協力として後期の第4回「ファシグラが鍵」の回に講師として事務局長が登壇し、ホワイトボードを使ったファシリテーションの有用性について講義を行った。

(2) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりの支援事業

○地域コミュニティサポート事業

○平成30年度地域コミュニティ支援アドバイザー業務

(神戸市委託事業／2018年4月2日～2019年3月31日)

「神戸市地域コミュニティ施策の基本方針」(平成27年度策定)に基づき、まちづくりに関する専門的知識・経験を有する民間人材(コンサルタント)を活用し、市内各地域の多様な地域特性に応じた地域コミュニティ施策を推進するため、各区で開催の「地域コミュニティ支援者会議」で地域の現状把握・分析、及びそれにより抽出される地域課題解決のための支援策の提案、助言もしくは、必要に応じ、各区と協議の上、まちづくり専門家等を必要な地域に派遣した。



写真③

会議の運営・コーディネート及び各区における地域支援のスキル向上や会議関係者間の連携の強化を図った。また、会議の自主的・継続的な開催に向けての支援も行った。各区の現状と取り組みについての関係者間の確認・共有および全市の課題の把握と今後の施策展開を検討するために「地域コミュ

ニティ支援者連携会議」を開催した。

【地域コミュニティ支援者会議】 ※写真③

東灘区：5月15日、8月1日、9月25日、11月26日、1月22日

灘区：実施せず

中央区：6月27日、8月9日、9月11日、3月19日

兵庫区：2月25日

北区：5月28日、7月15日、9月11日、10月21日、12月6日、1月20日、3月25日

長田区：7月25日

須磨区：4月20日、11月26日、12月26日、2月8日

垂水区：11月28日、

西区：実施せず

【事業推進会議】 5月24日、7月5日、10月5・11日、12月17日、1月18日、2月14日

【地域コミュニティ支援者連携会議】 3月15日、

【協力団体・個人】 株式会社 コー・プラン、有限会社 スタジオ・カタリスト、株式会社 都市調査
計画事務所、合同会社 ひと・まち・住まい研究所、個人コンサルタント

○被災地支援事業

○被災地コミュニティ再生支援事業（宮城県山元町委託事業／2018年5月1日～2019年3月22日）

宮城大学から拠点と担当者を引き継ぎ、山元町内の新市街地におけるコミュニティ形成と浜通り行政区のコミュニティ再生支援の取り組みを実施し、各地域の自治運営組織に合意形成や相互理解を図り、実施した取組成果に基づき、住民で構成される地域共同体が自立的に機能するための基盤整備を行った。

【現地事務所】 山元復興ステーション（山元町山寺字山下）

当法人職員2名を主任研究員、復興推進員として配置（訪問対応延べ185件）

【つばめの杜西区自治会の運営支援】

- ・役員会への運営支援：6月10日、7月8日、8月5日、10月14日：11月11日、12月16日、1月13日、2月10日、3月3日
- ・コミュニティ組織への運営支援：7月22日（住民17名）、9月9日（住民21名）、10月20日（住民18名）、11月23日（住民15名）、12月26日（住民1名）、2月27日（住民3名）

【つばめの杜公園管理会の運営支援】

- ・役員会への運営支援：5月16日、6月12日、6月28日、8月14日、9月11日、10月10日、11月8日、12月11日、1月21日、2月26日
- ・全体会への運営支援：5月28日（会員10名）、6月20日（会員7名）、7月10日（会員8名）、8月26日（会員8名）、9月27日（会員5名）、10月25日（会員10名）、11月20日（会員7名）、12月20日（会員6名）、2月5日（会員7名）、3月5日（会員7名）、3月16日（会員10名）
- ・交流イベントへの運営支援：7月22日「手持ち花火大会」（住民約130名）、8月19日「つばめの杜夏祭り」（住民約650名）

【桜塚地区自治会組織の運営支援】

- ・役員会への運営支援：5月13日、6月3日、7月1日、7月13日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、1月6日、2月3日、3月3日

- ・ 班長会への運営支援：6月11日（役員・班長9名）、8月11日（役員・班長10名）、9月12日（役員・班長8名）、3月17日（役員・班長11名）
- ・ 交流イベントへの運営支援：
 - 8月25日「桜塚サマーフェス」（約130名参加）※写真④、
 - 10月28日「芋煮会」（約50名参加）
- ・ 総会への運営支援：3月17日（住民58名）



写真④

【再編行政区への支援（磯区）】

- ・ 役員会への運営支援：6月24日、7月29日、12月16日、1月13日、3月3日
- ・ 交流会への運営支援：9月16日「磯区大交流会」（住民約100名）

【再編行政区への支援（中浜区）】

- ・ 役員会への運営支援：6月15日、7月14日、7月29日、9月30日、11月24日、1月12日、1月24日、3月1日、3月11日、3月21日
- ・ 夏まつり実行委員会への運営支援：7月20日、2月24日、7月26日、7月31日、8月3日、8月12日「夏祭り」、9月15日、12月4日、12月23日「クリスマス会」

【再編行政区への支援（笠野区）】

- ・ 笠野区検討委員会への運営支援：9月15日、10月21日、11月25日、1月27日、2月9日、2月24日、3月9日、3月17日

○被災者・被災集落の生活再建に係る支援業務

（熊本県南阿蘇村委託事業／2018年7月23日～2018年2月28日）

熊本地震から2年を過ぎ、住まい再建の目途がたち応急仮設住宅から退去する世帯も出てきているが、依然として生活再建の方針も決まらず応急仮設住宅の延長により住み続ける世帯など二極化が進んできている。被災集落においては小規模集落改良事業など復興事業が本格化してきておりハード面の整備は一定の道筋がついている状況だが、集落活動としての再生はこれからの課題となっている。



写真⑤

当事業では、戸別訪問の企画・運営、集落内住民の生活再建座談会の実施、集落再生支援コーディネート等の業務により被災者の生活再建、集落の再生を進めた。

- ・ 7月23日（月） 南阿蘇村との打ち合わせ
- ・ 8月18日（土） 第1回沢津野区復興むらづくり協議会 対象地区参加者：9名
- ・ 8月19日（日） 第2回乙ヶ瀬区復興むらづくり協議会 対象地区参加者：5名
- ・ 9月23日（日） 第3回長野区復興むらづくり協議会 対象地区参加者：12名 ※写真⑤
- ・ 10月7日（日） 第2回沢津野区復興むらづくり協議会 対象地区参加者：15名
- ・ 10月8日（月） 第3回乙ヶ瀬区復興むらづくり協議会 対象地区参加者：20名
- ・ 10月22日（月） 南阿蘇村との打ち合わせ
- ・ 10月27日（土） 長野岩戸神楽秋季大祭
- ・ 11月18日（日） 南阿蘇村復興むらづくり協議会の情報交換会 対象地区参加者：15名
- ・ 11月19日（月） 南阿蘇村との打ち合わせ

- ・12月7日（金） 第3回沢津野区復興まちづくり協議会・workshop 対象地区参加者：5名
- ・1月25日（金） 第4回沢津野区復興まちづくり協議会 対象地区参加者：6名

○多賀城市コミュニティ形成支援事業（協力支援）

東北圏地域づくりコンソーシアムの依頼で2017年度に続き、復興推進員の研修と市内の4つの復興公営住宅団地のコミュニティ形成支援を行った。

○益城町復興まちづくり支援事業（協力支援）

熊本地震で唯一復興区画整理事業の実施が行われる木山地区で設立支援したまちづくり協議会を熊本大学など地元の支援団体と連携しながら支援した。また「まちづくり広場」を提案し実現することができた。

○相談事業

通常業務としての相談は受けているが、収益事業としては実施せず。

○アドバイザー派遣事業

○NPO・地域団体支援アドバイザー派遣事業

（神戸市委託事業／2018年4月1日～2019年3月31日）

神戸市内に存在している多くのNPOや市民団体、地域自治団体などは様々な課題を抱えており活動自体が困難になっている。そうした神戸市内の市民活動を行うNPOや市民団体、地域自治団体などの活動が持続的かつ発展していけるようにマネジメント力強化と会計事務の向上（地域自治団体）を目指すために、アドバイザーを派遣した。また、団体間の交流を図るために事業説明会・団体交流会、中間報告会、成果報告会を開催した。



【アドバイザーミーティング】5月16日、7月20日、9月21日、12月3日、3月4日

【派遣先】NPO 等育成アドバイザー（実績8団体）／しんわだい文庫、一般社団法人神戸ダルクヴィレッジ、NPO 法人福祉ネット星が丘、NPO 法人まなびと、NPO 法人ふおーらいふ、NPO 法人そらしど、NPO 法人親和スポーツネット、NPO 法人いろえんぴつ

会計支援アドバイザー（実績6団体）／福田ふれあいのまちづくり協議会、白川台ふれあいのまちづくり協議会、有馬ふれあいのまちづくり協議会、なぎさふれあいのまちづくり協議会、舞多聞ふれあいのまちづくり協議会、高丸ふれあいのまちづくり協議会、

【報告会等】

- ・6月17日（日） 事業説明会と団体交流会 参加12団体

【プログラム】あいさつ、事業説明、参加団体の自己紹介、グループワーク①「NPO に会計のことを聞いてみよう」、グループワーク②「お互いのお困りごとを聞いて、解決してみよう」、発表～共有

- ・12月9日（日） 中間報告会 参加7団体 ※写真⑥

【プログラム】あいさつ、本日の趣旨説明、参加団体の自己紹介、少し振り返って今の状況を考える、発表～共有、少し先を考える、発表～共有

・3月21日(水) 成果報告会 参加9団体

[プログラム] あいさつ、本日の趣旨説明、今年度の振り返り、グループワーク
テーマ「次年度の課題」、発表～共有、まとめ～おわりに

[協力団体] 認定NPO法人市民活動センター神戸、認定NPO法人しみん基金・KOBE、NPO法人
場とつながりの研究センター、NPO法人ひょうごセルフヘルプ支援センター、NPO法人兵庫
セルフセンター、ひょうご・まち・くらし研究所、神戸大学ボランティア支援室

OHMP 事業

○淡路地域の地域づくり・ネットワーク推進事業（プラットフォーム淡路島実施事業への協力）

淡路島で活動する多くのグループ、団体がそれぞれの立ち位置を気づき、更なる活動のヒントを得る機会となり、知り合いや仲間が増え、繋がりや輪とネットワークの広がりを感じることができるよう、「プラットフォーム淡路島」としてラウンドテーブル・交流会を開催している。理事長がアドバイザーとして協力している。

(3) まちづくり及び地域再生のために必要な事業

○ひょうごボランティア基金助成事業

○明舞団地エリアマネジメント推進事業

(ひょうごボランティアプラザ/2018年4月1日～2019年3月31日)

高齢化に伴う、自治会やマンション管理組合の運営機能低下をビジネスの観点で支援を行い、持続的な支援となる仕組みを構築し、ゆくゆくはエリアマネジメント会社(まちづくり会社)の設立を目指すため、松が丘校区まちづくり協議会支援およびマンション管理組合ネットワーク検討会とセミナーを実施した。セミナーの報告として「マンション管理組合ネットワークニュースレター」を3号発行した。



[松が丘校区まちづくり協議会支援] 定例会に参加し、議事録作成を合計4回実施した。

- ・12月6日(木) 松が丘校区まちづくり協議会(16名参加) 会議参加および議事録作成
- ・1月10日(木) 松が丘校区まちづくり協議会(15名参加) 会議参加および議事録作成
- ・2月7日(木) 松が丘校区まちづくり協議会(18名参加) 会議参加および議事録作成
- ・3月7日(木) 松が丘校区まちづくり協議会(14名参加) 会議参加および議事録作成

[明舞マンション管理組合ネットワーク構築] 企画検討会を4回、セミナーを3回開催した。

- ・5月18日(金) マンション管理組合ネットワーク検討会①/助成金採択について報告および今後のスケジュールについて
- ・8月12日(日) マンション管理組合ネットワーク検討会②/セミナー内容確認と配布について
- ・10月13日(土) マンション管理組合ネットワーク検討会③/ニュース内容確認と配布について
- ・12月8日(土) マンション管理組合ネットワークセミナー①「マンション管理とは」※写真⑦
[講師] 田頭修氏(一般社団法人兵庫県マンション管理士会)
- ・1月12日(土) マンション管理組合ネットワークセミナー②「管理会社との上手な付き合い方」
[講師] 高橋敏幸氏(一般社団法人兵庫県マンション管理士会)
- ・2月9日(土) マンション管理組合ネットワークセミナー③「大規模修繕と建て替え」

[講師] 山内徹郎氏 (山内徹郎都市計画研究室)

・3月9日(土) マンション管理組合ネットワーク検討会④/次年度事業内容について検討

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○ニュース等の発行 ニュースは未発行だが、会員へは理事会記録を配信した。

○実行委員会・ネットワーク等に参加

- ・地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会準備会
- ・ひょうごふるさとづくり交流会議
- ・こうべあいウォーク 2019 実行委員会
- ・明舞再生塾
- ・ひょうご市民活動協議会 (HYOGON)
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク
- ・災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議
- ・KOBE 復興大実行委員会
- ・地域コミュニティ支援者会議 (神戸市) など

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

○通常総会

開催日 2018年5月24日(木) 18時30分～19時45分
開催場所 神戸市生涯学習支援センター 305会議室
出席者 21名(うち表決委任者6名) ※正会員数28名
議事内容 第1号議案「2017年度事業報告および2017年度決算報告承認の件」
第2号議案「2018年度・2019年度役員承認の件」
第3号議案「2018年度事業計画および2018年度活動予算承認の件」
第4号議案「特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所定款改正の件」

○理事会 隔月(奇数月)開催する。

4月理事会 2018年4月9日(月)9時40分～11時35分
会場 神戸まちづくり研究所旧事務所(中央区吾妻通)
出席 理事6名/7名中(他1名)
議事 活動報告、決算見込み、NPO・地域団体支援アドバイザー派遣事業、地域コミュニティ支援アドバイザー業務、被災者復興個別(世帯別)相談会業務、山元町地域のコミュニティ形成支援事業、神戸復興まちづくり塾、通常総会議案、事務所移転

5月理事会 2018年5月14日(月)9時30分～11時30分
会場 神戸まちづくり研究所旧事務所(中央区吾妻通)
出席 理事6名/7名中(他1名)

- 議事 活動報告、2018年度決算報告、総会案内、総会提案事項（2017年度事業報告および決算報告、2018年度・2019年度役員、2018年度事業計画および活動予算、定款改正）、総会進行、第37回地域づくり団体研修交流会兵庫大会
- 臨時理事会 2018年5月24日（木）20時00分～20時15分
 会場 神戸市生涯学習支援センター 305会議室
 出席 理事7名（内書面表決2名）／7名中（他1名）
 議事 理事長1名、副理事長2名の選定
- 8月理事会 2018年8月13日（月）9時40分～11時50分
 会場 神戸まちづくり研究所新事務所（東灘区深江北町）
 出席 理事4名／7名中（他1名）
 議事 活動報告、決算報告、新規事業確認、被災地コミュニティ再生支援事業（山元町）、すまいまちづくり公社ワークショップ、伊丹新市庁舎設計市民ワークショップ、復興まちづくり塾の冊子化、明舞団地エリアマネジメント推進事業（HVP補助事業）、被災者・被災集落の生活再建に係る支援業務（南阿蘇村）
- 9月理事会 2018年9月10日（月）9時35分～11時50分
 会場 神戸市勤労会館 応接会議室
 出席 理事6名／7名中（監事2名出席+他1名）
 議事 活動報告、決算報告、被災者・被災集落の生活再建に係る支援業務（南阿蘇村）、伊丹新市庁舎設計市民ワークショップ、すまいまちづくり公社ワークショップ、アドバイザー派遣（ふれまち協会計支援）、被災地コミュニティ再生支援事業（山元町）、プラットフォーム淡路島、明舞団地エリアマネジメント推進事業（HVP補助事業）、こうべあいウォーク2019、地域コミュニティ支援アドバイザー業務、神戸復興まちづくり塾の冊子化、神戸復興まちづくり塾第2期
- 11月理事会 2018年11月12日（月）9時35分～11時40分
 会場 神戸市勤労会館 会議室304
 出席 理事6名／7名中（他1名）
 議事 活動報告、決算報告、平成30年度被災地コミュニティ再生支援事業（山元町）、地域づくり団体全国研修交流会、ひょうごボランティアプラザ東日本見学者受け入れ、明舞団地エリアマネジメント推進事業（HVP補助事業）、積水ハウス株式会社復興支援活動への協力、こうべあいウォーク2019、借入金について、神戸復興まちづくり塾、2019年度年賀寄附金配分申請
- 1月理事会 2019年1月21日（月）9時40分～11時40分
 会場 こうべまちづくり会館 会議室2
 出席 理事4名／7名中（他1名）
 議事 活動報告、決算報告、長期借入金返済終了、被災地コミュニティ再生支援事業（山元町）、積水ハウス株式会社復興支援活動への協力、プラットフォーム淡路島、明舞団地エリアマネジメント推進事業（HVP補助事業）、NPO・地域団体支援アドバイザー派遣事業、地域コミュニティ支援アドバイザー業務、NPO法20年全県フォーラム、地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会、神戸復興まちづくり塾

3月理事会 2019年3月11日(月)9時20分～10時35分

会場 神戸市勤労会館 会議室304

出席 理事6名(内書面表決2名)／9名中(他1名)

議事 活動報告、決算報告、地域コミュニティ支援アドバイザー業務、NPO・地域団体支援アドバイザー派遣事業、明舞団地エリアマネジメント推進事業(HVP補助事業)、NPO法20年全県フォーラム、被災地コミュニティ再生支援事業(山元町)、平成31年度企画応募(会計事務支援アドバイザー派遣制度、地域コミュニティ支援アドバイザー業務)、神戸復興まちづくり塾、決算見込みと来年度予算

(2) 事務局体制

○事務局長：浅見雅之

事務局スタッフ：川村憲之

(3) 会 員 (2019年3月31日現在)

①正会員 [個人] 29名

(4) 事務所移転

○新事務所

移転日：2018年6月1日

所在地：〒658-0013 神戸市東灘区深江北町4丁目8番19-202号

Tel/078-855-8520 Fax/078-436-2121 E-Mail/LET07723@nifty.ne.jp

※合同会社人・まち・住まい研究所の一部屋(キッチン・トイレ共用)を借り受ける。

月額7万円の一括支払：家賃5万円、水道光熱費1万円、コピー機使用料6千円、電話代4千円